



掲載内容は要約です。全文の冊子は市役所7階政策推進課で配布しているほか、市役所2階情報コーナー、ホームページ、勇払・のぞみ出張所、各コミセン、植苗ファミリーセンター、中央図書館でご覧になれます

進捗度による公約 達成率 90% (27/30)

岩倉市政 1期4年間の総括

～市長公約

の取組状況～

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ で政策推進課 検索

これまでに実施した主な内容をお知らせします

詳細 政策推進課 ☎ 32-6039



お年寄りや子どもたちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

1 静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます

実施内容
●静和荘は23年度オープンを目指し、21年度より民間へ移管しました。
●老人福祉センターは教育・福祉センターに移転し、高齢者福祉センターとして21年4月にオープンしました。

2 子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます

実施内容
●子育て、家事は、教育・福祉センターに「子育て支援センター」を21年4月にオープンしました。
●介護は再編成した7圏域に「地域包括支援センター」を設置し、介護福祉課と各地域包括支援センターにおけるネットワークシステムを構築しました。

3 障がい者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます

実施内容
●障害者就労相談員を配置し、就労支援体制を強化するとともに、専門的職員の配置や相談室などを整備し、地域における自立生活および社会参加を支援しました。

4 活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります

実施内容
●21年1月に十勝岳火山防災フォーラムに参加し、関係自治体との連携を強化しました。
●苦小牧造園組合、北海道コカ・コーラボトリング、苦小牧測量設計業協会と災害時応援協定を締結しました。

5 新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます

実施内容
●夜間・休日急病センターとの機能分担を進めるとともに、救急体制の充実を図りました。また、周産期医療においては21年度から助産師外来を開始しました。

6 防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります

実施内容
●パトロール用具の貸し出しや防犯情報の提供などにより、自主防犯パトロール隊の活動を支援しました。
●学校や地域団体などで交通安全教室を開催し、市民意識の向上に努めました。
●市民防災講座の開催や新たな助成金制度の創設などにより、災害時要援護者支援に努めました。

行革を進め、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

1 第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政計画を策定します

実施内容
●行政改革は「第3次行革計画」に基づき着実に実施し、5カ年目標の達成率は100.3%となりました。
●財政健全化は「新健全化計画」に基づき取り組みを進め、設定した3指標は20年度決算において、目標値を概ねクリアすることができました。

2 ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します

実施内容
●ごみ収集業務を民間委託するとともに、委託拡大について取り組みを進めました。
●市営バスは24年度からの民間移譲を前提とし、21年11月に委託事業者を道南バス㈱に決定し、22年2月に道南バス㈱と24年度全面移譲の協定書を締結しました。
●学校給食センターは管理運営の考え方として民間委託を推進する「新第1学校給食共同調理場管理運営について(案)」を策定しました。
●高砂下水処理センターは22年4月から平日昼間についても委託拡大しました。

3 周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます

実施内容
●周辺自治体と連携したイベントを開催したほか、新たな広域戦略として、胆振管内全自治体で構成する「いぶり次世代鉄道政策研究会」を設立し、太平洋側沿線における高速鉄道の在り方などを協議しました。

4 地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います

実施内容
●19年4月に自治基本条例、21年4月に市民参加条例を施行し、市民自治のまちづくりに取り組みました。

5 指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます

実施内容
●各コミセン、ウトナイ交流センター、文化交流センターなどの施設に、指定管理者制度を導入しました。

6 21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します

実施内容
●まちづくりの指針となる「総合計画第5次基本計画」を策定し、基本構想に掲げる「人間環境都市」の実現に向けて各施策に取り組みました。

心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苦小牧 愛します！

1 「氷上の甲子園(全国高校アイスホッケー大会)を充実発展させるとともに、苦小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります

実施内容
●氷上の甲子園は、参加地域拡大や試合数の増加などに努めました。
●アイスホッケー留学は、ナショナルトレーニングセンター事業を通じて年代別のアイスホッケーカールを開催しました。

2 アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します

実施内容
●プロの演奏家の指導でレベルの向上を目的とした「青少年ミュージックキャンプ」を開催しました。

3 図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります

実施内容
●図書館・博物館運動はボランティアの読み聞かせや博物館友の会などとの連携行事など、市民団

実施内容
体と協働しながら取り組みました。
●体育文化施設の改修は、総合体育館のトレーニング機器整備やハイランドスポーツセンターのボイラー改修などを実施しました。

4 特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します

実施内容
●大成小学校など12校に特別支援学級の設置と支援員8人を配置し、特別支援教育の充実を図りました。また、通級指導教室を中学校3校、小学校1校に設置しました。

5 公平、平等な社会の実現のための施策を推進します

実施内容
●「男女平等参画基本計画(第2次)」を20年度に策定し、関連する施策に取り組みました。

6 市民同士の国際交流を進め、国際都市苦小牧を育てます

実施内容
●姉妹都市との相互訪問により交流を深めるとともに、庁舎内に国際交流サロンを開設し、在苦外国人との交流会を開催しました。

産業流通の活性化、働ける笑顔あふれる

1 苦小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます

実施内容
●東港区は国際コンテナターミナル機能を東港区へ一括シフトし、機能強化や整備を進めました。
●西港漁港の拡張に向け、現地着工をしました。
●寄港したクルーズ客船を市民と共に歓迎するなど、親しまれる港づくりに取り組みました。

2 交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します

実施内容
●関係機関と協議や環境調査などを進め、北海道へ建設主体となっていただくように要請しました。

3 トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります

実施内容
●トップセールスで多くの企業を訪問したほか、工業団地視察会を開催し、道内外の企業に参加していただきました。

く人のまち苦小牧 導きます！

4 市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます

実施内容
●東側でウトナイ小学校や青翔中学校の開校、西側で消防署錦岡出張所の移転新築などを実施し、地域の実態と均衡に即した公共施設の整備を進めました。
●中心市街地は、21年度に「まちなか再生総合プロジェクト素案(CAP)」を策定しました。

5 ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます

実施内容
●関係機関との協議を進め、22年3月に「ビジット苦小牧観光会議」を設置・開催しました。
●外国人観光客の誘致と体験型観光の取り組みを推進しました。

6 地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討してまいります

実施内容
●「東胆振地産地消フェア」などのイベントを通じ、地産地消の推進と学校給食に地元産品の使用拡大を図りました。

自然を活かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

1 リサイクルの推進とごみの減量化を図ります

実施内容
●「053大作戦」および「ecoライフ大作戦」をまちぐるみで実施し、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました。また、給食残渣の堆肥化や廃プラスチックの分別収集を開始しました。

2 京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります

実施内容
●「地球温暖化対策地域推進計画」を策定するとともに、ecoライフ大作戦を展開する中で、地球温暖化対策の取り組みを進めました。

3 第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます

実施内容
●19年6月に静川地区で全国植樹祭を開催し、会場跡地で森林づくりフォーラムを実施したほか、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めました。

4 美々川流域の自然環境保全指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます

実施内容
●自然環境保全地域指定は重点要望事項として、北海道などの関係機関へ要望しました。
●環境監視は大気・水質測定機器の更新や騒音測定装置を増設し、監視体制を強化しました。

5 上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します

実施内容
●水道事業の将来像と方策などを示す「水道ビジョン」を策定し、水道施設の更新事業や耐震化事業などを実施しました。

6 環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます

実施内容
市民団体とともに講演・実演会を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めました。また、ごみ収集車へBDF燃料の利用と低公害車の導入をしました。